(1)

単純平均で対前年度比1・2

%引き上げられます。 9年連

続の引き上げで、

全国全職種

加重平均値は2万409円と

3月から適用する公共工事

全国全職種

石川さん

救助隊の結成当初からの隊長

土建板橋災害

です。今年度には、

ですよ」と謙そん気味に話す

言われてなったのがいきさつ 『災害救助隊長はセット』と

所の人たちが「10m程の津波

ましたが、しばらくすると近

が来るらしい」と騒ぎ始めま

「仕事対策部長になって、

を感じるも作業を続行してい

た。鉄筋の結束作業中、揺れ

り込みの仕事をしていまし さんは千葉県九十九里で泊ま

9年連続で上昇設計労務単価が

東京土建のホー

一に機能する隊に

る250人の隊員を組織する 掲げた組織人員の5%を上回

ことができました。

10年前の3・11の時、石川

たと言います。東京に戻り、

11は千葉で、南三陸にも

(年間購読料 千八百円) かに含まれています) http://www.tokyo-doken.or.jp/

五十円

印刷部数1万700部

、購読料は組合費のな

東京都新宿区北新宿1-8-16 東京土建一般労働組合 電話03(5332)3971(代表)

FAX 03 (5332) 3972 発行人・編集人

三木

勉

江戸川

八が減って注文が減少

年始を兼ねて名和鉄工さんに近況をたずねる 遠藤副委員長(右)

といった相談のほかに、 広告を支部機関紙に出したい 人したいがどうしたらよい 人手が足りないので求人

ました。通常であれば1日行 秋のそれぞれの拡大月間ごと 動となりました。 とでしたので、半日の時短行 常事態宣言が出されているも では2月17日と18日に行動し に2日間の事業所訪問行動を 江戸川支部では春一番、春

書記が参加し、4件の組織内 事業所を訪問しました。 中村安彦書記次長、吉田和樹 副委員長、清水辰夫副委員長、 事業所からは、建退共に加

. 要

ができました。 況を聞き取り、対話すること したが、事業所から様々な状 拶訪問ができなかったので、 これを兼ねての行動となりま −月に行なっている新年の挨 たが、社員の給料を考えると てのため持続化給付金を受け

望も出されました。 今後も継続してほしいとの要

今回はコロナの影響で例年

って、タンクの注文も減った。 いるが、セメントの輸入が減 るセメントのタンクを作って ナの影響では、現場に設置す の話が聞けました。またコロ かり、実態とあっていないと 促しているが、就労する際の 元請の書類審査が3週間もか は外国人技能実習生の活用を

け、接触時間を短縮するため、 となりました。 分会財政部会とあわせた行動 行動日を組みました。 18日は 『並支部は2月18日、19日に この日は「健診よびかけ」

ランティアにも参加してきま った南三陸町での炊き出しボ 所属する舟渡高島分会で行な でしたが、多くの住民が避難 していないのを目の当たりに して石川さんは違和感を覚え 電話かけリストを配布し、 者受け入れの模擬体験、 人協定を結びました。これま

> です」と語る人がいる。 最中、終わりじゃない感じ

り組んでいます。



した泉南分会

東京高裁の2審 の集団訴訟で、

よって千葉県に 避難した人たち

■原発事故に

健診」を託 離れた場所 **凹題**に で電話かけ

任を認めたのは今回で2例 例出されているが、国の責 集団訴訟の控訴審判決が3 原発事故をめぐる避難者の ったことを断罪している。 電へ規制権限を行使しなか 期評価」に基づいて国が東 が信頼できると判断し、「長 出した地震予測「長期評価」 賠償を命じた。政府機関が った1審判決とは逆に国へ 判決は国の責任を認めなか

目となった。

が最近発行した記録集『「3

■西東京市のNPO法人

杉並

信員】春一番仲間づくり月間 【杉並・書記・喜多正之诵

救命講習、起震車・煙体験車 でに消防署や板橋区と協力し んできました。石川さんは年 自では防災タウンウオッチン ての倒壊家屋救出訓練、普通 できれば、と考えています。 体験、防災館体験、帰宅困難 に1度、大規模な防災訓練を グなどに毎年のように取り組 隊独

さんは前を向きます。 から板橋区との防災協定を結 機能する災害救助隊にする

板橋区と災害時帰宅困難者受 結成され、2018年には、

2017年に災害救助隊は

協定めざす 区との防災

> けた人もいました。 阿佐谷分会では13の群の役員 で活動する形を基本に各分会 トを配布。その場で電話をか 人で意思統一をしっかりと。 会ではセンターに集まった21 浜福分会も同様です。泉南分 から電話かけ。西荻、富士見、 がセンターに立ち寄り、電話 が工夫して取り組みました。 れぞれが自宅など離れた場所 高和分会は参加の19人にリス かけリストを受け取って翌日

> > 声を拾っている。10年後の

と避難した移住者の現在の

に日々』では**、**西東京市へ 」西東京市の人びとが紡い 11から10年」東北被災者

い、なかったことにしては 発事故の恐怖を風化させな 今でも、「地震、津波、原

いけない」「避難している

員で即、電話かけ。健診未受 持ち帰り電話かけ。19日には 電話かけをすることに。 氏福浩分会長がセンターから 井荻分会では群から書類を 中央分会は23人がリストを 仲間2人から日曜健診の 後、センターに残った役

達です。確実にやりきって、 あたたかな春を迎えられるよ ころ2月18日現在、21人の到 さまざま工夫しながら取 一番月間は目標50人のと をとりました。 も広げていきたい。

団訴訟をみても国の責任に を見聞きした仲間であれ 地で被災者の声を聞いてき 被災者支援に動いた。被災 はない。このまま終わらせ ついて定まっているわけで るのではないか。原発の集 わりじゃない」に共感でき た組合員、その組合員の話 てから、東京土建は真摯に ■東日本大震災が発生し 「風化させない」「終

土建板橋災害救助隊隊長 石川政利さん